

美術交流

諸外国に日本文化を紹介し、相互理解と交流を深めるための事業の一つとして、日本の伝統的な美意識や日常生活に根ざした美術、あるいは、海外との交流のなかから生まれた美術などの展覧会を実施している。また、外国文化の幅広い受信を目指し、日本国内で紹介される機会の少ない海外の美術を日本国内で紹介する展覧会も実施する。

具体的には、今日の日本の美術状況と優れた現代作家を広く世界に知ってもらうことを目的とした国際展への参加、日本の伝統美術や近・現代美術を海外に紹介する展覧会ならびに商業ベースに乗りにくい特色のある海外の芸術文化を日本国内で紹介する展覧会の企画・実施、基金が所蔵する日本の陶芸、版画、写真、人形等の展覧会の海外巡回、また、国際交流に寄与する内外の展覧会に対しての資金的援助を行なっている。

1. 国際展への参加(計2件)

今日の日本の美術状況と優れた現代作家を紹介することを目的に、作品の出品や作家の派遣により国際美術展に参加する。

<2003年度事業例>

- 「第50回ヴェニス・ビエンナーレ」(日本館、カステロ公園、ヴェニス/イタリア)

コミッショナーに長谷川祐子氏(金沢21世紀美術館建設事務局学芸課長)を迎え、作家としては、曾根裕、小谷元彦の両氏が参加して、“Heterotopias”をテーマとした展示を行なった。

2. 海外展

(1) 海外展主催(企画展：計6件、巡回展：計18セット)

内外の美術館、博物館等との共催により、わが国の芸術・文化を海外に紹介する企画展と、基金が所蔵する日本の芸術・文化に関する展示セットを海外に巡回する巡回展とがある。



第50回ヴェニス・ビエンナーレ

<2003年事業例>

(企画展)

- 「日本美術における四季展」(ニューサウスウェールズ州立美術館、シドニー/オーストラリア)

文化庁およびニューサウスウェールズ州立美術館との共催で、日本美術における四季をテーマとした展覧会を行なった。江戸時代から昭和期までの季節をテーマとした絵画、工芸などが展示された。

- 「ひととロボット：夢から現実へ展」(パリ日本文化会館、パリ/フランス)

日本におけるヒューマノイド型ロボットへの関心の高さの理由を、文化の側面から探る複合的企画である。ロボットをアートの側から再解釈した作品による展覧会「電脳空間の夢想」、ASIMOやQRIO等のロボットによるデモンストレーション、シンポジウム、日仏学生交流事業などによって構成された。

(巡回展)

- 「現代日本の陶磁器展」
- 「日本の版画1950 - 1990展」
- 「写楽再見展」

(2) 海外展助成(約30件)

内外の美術館などが主催し、海外で開催される日本の芸術・文化紹介に関する展覧会に対し、経費の一部を助成する。

<2003年度事業例>

- 「織部の芸術と桃山文化展 (“The Art of Oribe and Momoyama Culture”）」(メトロポリタン美術館、ニューヨーク/米国)
- “Mediarena: Japanese Art in the 21st Century” ゴヴェット・ブルースター美術館、ニュープリマス/ニュージーランド)



ひととロボット：夢から現実へ展
© 《Fantaisies cybernéologiques》
Maison de la culture du Japon à l'och Paris,
photo : Cléochment - Olivier Meylan

3 . 国内展(企画展 1 件、助成約15件)

(1) 国内展主催

国内の美術館などと協力し、これまで紹介される機会の少なかった海外の優れた美術を紹介する展覧会を開催する。

<2003年度事業例>

• “Living Together is Easy” (水戸芸術館)

現在活躍している日豪各 6 名、計12名の作家を紹介する展覧会。

(2) 国内展助成

国内の美術館などが主催し、これまで日本に紹介される機会が少なかった諸外国の優れた芸術・文化の紹介に関する展覧会の経費の一部を援助する。

<2003年度事業例>

• 「アフリカの美術展」(広島県立美術館)

• 「フランスコミック・アート展」(川崎市民ミュージアム)

地域別比率

